

伊賀市立上野東小学校日本語指導カリキュラム表

課	題 材	ねらい	文 型	指導可能な単語
1	みみです	・体の部位名を「～です。」の言い方で言えるようにする。	◎ここはなんですか ◎ <u>名詞</u> (体の部位名) です	ここ、耳、目、鼻、足、骨…等
2	いたい	・「～がいたい。」 「～がかゆい。」の言い方に慣れる。	◎ <u>名詞</u> (体の部位名) がいたい ◎ <u>名詞</u> (体の部位名) がかゆい	痛い、かゆい、頭、目、鼻、歯、髪の毛、肩、首、胸、腹、背中、手、おしり、指、足、蚊 ……等
3	ホナウドです	・「これはだれですか。」「～です。」の表現に慣れる。	◎これはだれですか ◎ <u>名詞</u> (人物) です	これ、だれ、です、～先生 ……等
4	ぎんこうです	・「ここはどこですか。」「～です。」の表現に慣れる。	◎ここはどこですか ◎ <u>名詞</u> (場所) です	銀行、教会 中学校、 高等学校、 クリーニング屋 ……等
5	ひこうきです	・「これはなんですか。」の問いに、「～です。」と答える事ができる。	◎これはなんですか ◎これは <u>名詞</u> です	これ、服、本、飛行機、船、タクシー、バス、自転車 ……等
6	ほけんしつに あります	・「～はどこにありますか。」の問いに答える事ができる。	◎ <u>名詞</u> はどこにありますか ◎ <u>名詞</u> (場所) にあります	どこ、これ、 体育館、図書室 理科室、図工室 音楽室、職員室 保健室、運動場 プール、給食室 ……等
7	いぬがあります ……?	・「います」と「あります」のつかい分けができる。	◎ <u>名詞</u> がいます ◎ <u>名詞</u> があります	熊、犬、猿、魚 羊、鹿、猪、檻 魚屋 ……等

課	題 材	ねらい	文 型	指導可能な単語
8	いけといけの あいだに ネズミが います	・「～と～のあいだ に～がいます。」 「～と～のあいだに ～があります。」の 表現に慣れる。	◎ <u>名詞</u> はどこに いますか ありますか ◎ <u>名詞</u> と <u>名詞</u> のあいだに います あります	ネズミ、魚、 木、池、お日様 雲、時計、 どこ ……等
9	どれがいいですか	・いくつかの中から選 ぶ場合、その時に応 じて、「～がいいで す。」か「どれも いいです。」なか をつかい分ける事が できる。	◎どれがいいですか ◎ <u>名詞</u> がいいです ◎どれもいいです	どれ、いい、 画用紙、色紙、 消しゴム、鉛筆 ……等
10	どちらですか	・「どちらですか。」 の問いに、「～で す。」と答える事が できるようにする。	◎ <u>名詞</u> か <u>名詞</u> 、どちらですか ◎ <u>名詞</u> です ◎どちらでもいいです	どちら、帽子、 ハンカチ、絵 ……等
11	わたしは おかあさんが 好きです	・「～は～がすきで す。」「～は～がき らいです。」の表現 に慣れる。	◎わたしは <u>名詞</u> がすきです ◎わたしは <u>名詞</u> がきらいです	だれ、好き、 きらい、星、 ぶどう ……等
12	かみをきります	・「 <u>名詞</u> を□」の □に入る動詞を考え て、表現する事ができ る。	◎ <u>名詞</u> を <u>動詞</u> します	紙、ケーキ、 ジュース、 切る、破る、 貼る、食べる 分ける、飲む、 こぼす ……等
13	おはしで さしみを たべます	・いろいろな料理を何 で食べるか考える事 により、「～で～を ～たべます。」の表 現に慣れる。	◎ <u>名詞</u> (道具) で <u>名詞</u> を <u>動詞</u> します	スパゲッティ、 さしみ、ナイフ スプーン、 フォーク、 食べる ……等
14	どこへいきますか	・行く先を表す「へ」 をつけて「～へいき ます。」と言う事が できる。	◎どこへいきますか ◎ <u>名詞</u> へいきます	特別教室名、 海、山 ……等

課	題 材	ねらい	文 型	指導可能な単語
15	なにでいきますか	・「なにでいきますか。」「～で～へいきます。」の表現に慣れる。	◎なにでいきますか ◎ <u>名詞(手段)</u> で <u>名詞(目的地)</u> へいきます	タクシー、 トラック、船 自転車、飛行機 救急車……等
16	たべます・たべる	・身近な動詞の敬体と常体を知る。	◎ <u>動詞</u> (敬体) ◎ <u>動詞</u> (常体)	紙、ケーキ、 折る、折ります 食べる、 食べます……等
17	みる・みた	・身近な動詞の現在形と過去形を知る。	◎ <u>動詞</u> (現在形) ◎ <u>動詞</u> (過去形)	テスト、 見る、見た 聞く、聞いた、 飲む、飲んだ、 食べる、食べた かく、かいた 登る、登った ……等
18	そして	・2つの動詞を「そして」でつないだ短い文章の意味を理解する事ができる。	◎ <u>動詞</u> 。そして、 <u>動詞</u> 。	飲む、食べる、 立つ、勝つ、 負ける、考える 消す、怒る、 つかむ、気づく ……等
19	たべるまえに はしる	・「～するまえに～する」の文の中で、先に行う動作がどちらなのかをとらえる事ができる。	◎ <u>動詞</u> のまえに <u>動詞</u>	前に、食べる、 走る、話す、 消す、聞く、 書く……等
20	たべたあとで はしる	・「～したあとで～する。」の文の中で、先に行う動作がどちらなのかをとらえる事ができる。	◎ <u>動詞(過去形)</u> あとで <u>動詞</u>	あとで、食べる 走る、書く、 座る、寝る、 たたく、泣く ……等

課	題 材	ねらい	文 型	指導可能な単語
2 1	みて・たべて	・命令形としての動詞の「て形」をつかう事ができる。	◎ <u>動詞</u> て	さわって、見て 嗅いで、食べて 飲んで、捨てる 絞って、入れて ぶどう、コップ ジュース、 おいしい……等
2 2	たべている	・動詞の「て形」＋「いる」で現在進行形の意味となる事を知る。	◎ <u>動詞</u> ている（現在進行形）	寝ている、 食べている、 歩いている、 教えている、 かいている、 なめている…等
2 3	かわいい かわいくない	・身近な形容詞の否定形を知る。	◎ <u>形容詞</u> くない	コアラ、リス、 かわいい、 かわいくない、 赤くない、 青くない……等
2 4	おおきい	・「～より」の意味を理解し、表現できる。	◎ <u>名詞</u> は <u>名詞</u> より <u>形容詞</u>	より、大きい、 目、お父さん、 口、ゴリラ、 ゾウ……等
2 5	なんでしたか	・「なんでしたか。」の間に、「～でした。」と答える事ができる。	◎なんでしたか ◎ <u>名詞</u> でした	ビーカー、 ぼうし、ボール ものさし、 かなづち、 玉ねぎ、うちわ めがね、 ビデオテープ、 カセットテープ せんたくばさみ ハンカチ……等
2 6	まえにすすみます	・前後左右の方向が分かる。	◎ <u>名詞</u> （方向）にすすみます	～に、進みます 前、後ろ、右、 左、真ん中…等

課	題 材	ねらい	文 型	指導可能な単語
27	おかあさんに でんわを かけます	・「～にでんわをかけ ます。」が言えるよ うになる。	◎ <u>名詞</u> (人物)に 電話をかけます	もしもし、電話 ナンバー……等
28	あなたに おかしを あげます	・「～に～をあげま す。」の表現に慣れ る。	◎ <u>名詞</u> (相手)に <u>名詞</u> をあげます	～に、あげます たけのこ、 パイナップル、 りんご、すいか レモン ……等
29	せんせいから おかしを もらいます	・「～から～をもらい ます。」の表現に慣 れる。	◎ <u>名詞</u> (相手)から <u>名詞</u> をもらいます	～から、 もらいます、 宿題、大根、 じゃがいも、 なす、にんじん ほうれんそう ……等
30	なんまいですか	・数詞「枚」「冊」 「個」が、それぞれ どんなものを数える 時につかわれるのか を知る。	◎なんまいですか ◎～まいです ◎なんさつですか ◎～さつです ◎なんこですか ◎～こです	なん、枚、冊、 個、紙、本、飴 ……等
31	サッカーをします	・「○をします。」 の○に入る言葉を 考える事ができる。	◎ <u>名詞</u> をします	そうじ、サッカ ー、バスケット ボ ール、バレー ボール、なわと び、鉄棒 ……等
32	うんどうじょうで サッカーをします	・場所を表す「で」を つかって、「～(場 所)で～をしま す。」の文を言う事 ができる。	◎ <u>名詞</u> (場所)で <u>名詞</u> をします	プール、山、 おふろ、台所、 宿題、スポーツ なわとび……等

課	題 材	ねらい	文 型	指導可能な単語
3 3	たべないで	<ul style="list-style-type: none"> ・「～しないで。」 (禁止) の表現に慣れる。 	◎ <u>動詞</u> しないで	食べないで、 見ないで、 入らないで、 飲まないで、 さわらないで ……等
3 4	あかくておおきい	<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞がふたつ続く場合の言い方を知り、表現できる。 	◎ <u>形容詞</u> くて <u>形容詞</u>	白くて、赤くて 青くて、 黄色くて、 大きくて、 小さくて……等
3 5	おおきくかく	<ul style="list-style-type: none"> ・「大きく」「小さく」「赤く」などの言葉の後にどんな言葉が来るのか知り、表現できる。 	◎ <u>形容詞</u> く <u>動詞</u>	大きく、小さく 赤く、青く、 黒く、かく、 <u>塗る</u> ……等

第1課

—上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案—

- (1) 題材 みみです
- (2) ねらい 体の部位名を「～です。」の言い方で言えるようにする。
- (3) 文型 ◎ここはなんですか
◎名詞(体の部位名)です
- (4) 本時で指導可能な単語
ここ、耳、目、鼻、足、骨……等
- (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<ul style="list-style-type: none"> ①本時では、体のいろいろな部分の名前を学習する事を知る。 ②泳いでいる人の絵を見ながら、体の各部の名前を知る。 ③「ここはなんですか。」の問いに、「～です。」の言い方で答える練習をする。 ④人体の骨格図から、体の中には骨がある事を確かめ合う。 ⑤練習プリントをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習が、病院に行った時に役に立つ事を伝える。 ・児童の知っている部位名をできるだけ出させる。 ・問う役と答える役を交替させる。 ・体の中にも興味を持たせる。

第2課

—上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案—

- (1) 題材 いたい
- (2) ねらい 「～がいたい。」「～がかゆい。」の言い方に慣れる。
- (3) 文型 ◎名詞(体の部位名)がいたい
◎名詞(体の部位名)がかゆい
- (4) 本時で指導可能な単語
痛い、かゆい、頭、目、鼻、歯、肩、首、胸、腹、背中、おしり、手、指、足、蚊……等
- (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<ul style="list-style-type: none"> ①「おなかが痛い。」という表現から、本時は、「～が痛い。」という言い方を中心とした学習である事を知る。 ②経験や知っている事をもとに、「～が痛い。」を出し合う。 ③「どうしたの。」の問いかけに、「～が痛い。」と答える練習をする。 ④蚊に刺された経験をもとに、「～がかゆい。」という練習をする。 ⑤本時で学習した言い方を練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・腹痛を表す絵を見せて、こんな場合は、「おなかが痛い。」と言う事を伝える。 ・まず自分の経験をもとに考えさせる。 ・絵カードを使って、ゲーム的な要素を入れながら言わせる。 ・蚊のペープサートで興味を引く。 ・あらかじめ用意したプリントに書かせる。 ・最後まで書けるように支援する。

第3課

－上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案－

- (1) 題 材 ホナウドです
 (2) ねらい 「これはだれですか。」「～です。」の表現に慣れる。
 (3) 文 型 ◎これはだれですか
 ◎名詞(人物)です
 (4) 本時で指導可能な単語
 これ、だれ、です、～先生……等
 (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①本時の学習内容をつかむ。 ②自分と友だちの似顔絵をかく。 ③かけた似顔絵を使って、「これはだれですか。」「～です。」を言う練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・なかよし教室のだれもが知っている人の写真やその一部を提示し、だれなのか答えさせることにより、本時は「これはだれですか。」の問いに「～です。」と答える学習であることを知らせる。 ・早くかける児童には、枚数を多くする。 ・自分のかいた似顔絵を見せて、「これはだれですか。」と問いかけさせる。 ・他の児童は「～です。」と答えさせるが、「これは」や「それは」をつけて答えてもよいことを伝える。

第4課

－上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案－

- (1) 題 材 ぎんこうです
 (2) ねらい 「ここはどこですか。」「～です。」の表現に慣れる。
 (3) 文 型 ◎ここはどこですか
 ◎名詞(場所)です。
 (4) 本時で指導可能な単語
 銀行、中学校、高等学校、クリーニング屋、教会……等
 (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①本時の学習内容を知る。 ②校外に出て、自分の知っている建物や場所があったら、「ここは～です。」と言う練習をする。 ③本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の周りにある建物などの名前を言えるようになるための学習である事を知らせる。 ・安全な校外学習となるための心構えを持たせる。 ・建物などの名前が分かったら、指導者の「ここはどこですか。」の問いの後に続けて、「ここは～です。」と答えられるように支援する。

第5課

－上野東小学校なかよし1 日本語学習指導案－

- (1) 題 材 ひこうきです
 (2) ねらい 「これはなんですか。」の問いに、「～です。」と答える事ができる。
 (3) 文 型 ◎これはなんですか
 ◎これは名詞です
 (4) 本時で指導可能な単語
 これ、服、本、飛行機、船、タクシー、バス、自転車……等
 (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①本時の学習内容をつかむ ②実物を見ながら、「～です。」と答える練習をする。 ③本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「これはなんですか。」の問いに、「～です。」と答える学習であることを知らせる。 ・児童が関心を強くもちそうな物をおりませながら進める。 ・答えは板書し、再度読む事によって、文字と発音を確認させる。

第6課

－上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案－

- (1) 題 材 ほけんしつにあります
 (2) ねらい 「～はどこにありますか。」の問いに答える事ができる。
 (3) 文 型 ◎名詞はどこにありますか
 ◎名詞(場所)にあります
 (4) 本時で指導可能な単語
 どこ、これ、体育館、図書室、理科室、図工室、音楽室、職員室、保健室、給食室
 運動場、プール……等
 (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①本時の学習内容をつかむ。 ②校内の特別教室の名前を確かめる。 ③テレビの画面に映し出されるものが、どの教室にあるのか思い出して、「～にあります。」と答える練習をする。 ④練習問題をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビに出てくる物が、校内のどこにあるのか考えて答える学習であることを知らせる ・カードに書かれた特別教室の名前を読み、その教室が何の学習に使われるのか思い起こさせる。 ・問う役と答える役を交替させながら、どの児童にも答える機会を与える。

第7課

—上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案—

- (1) 題 材 いぬがあります……？
- (2) ねらい 「います」と「あります」のつかい分けができる。
- (3) 文 型 ◎名詞がいます
◎名詞があります
- (4) 本時で指導可能な単語
熊、犬、猿、羊、鹿、猪、魚、魚屋、檻……等
- (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①写真に写っている動物の名前を確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に小動物園へ行き、名前を確かめてきているので、そこにいた動物の名前を思い起こさせる。 ・「～がいる。」の言い方もつかう事を知らせるが、本時では「います」の言い方でとす。 ・日本語力のまだ十分でない児童には、動物の名前を覚える機会とする。 ・猿のいた「おり」は、「おりがいます。」ではなく、「おりがあります。」となることを知らせる。 ・動く生物は「います」、動かないものは「あります」となる事に気づかせる。
②動物名を「～がいます。」に当てはめて言う。	
③動物でないものは、「～があります。」となることを知る。	
④「います」と「あります」のつかい分けを練習する。	
⑤練習問題プリントをする。	

第8課

—上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案—

- (1) 題 材 いけといけのあいだに ネズミがいます
- (2) ねらい 「～と～のあいだに～がいます。」「～と～のあいだに～があります。」の言い方に慣れる。
- (3) 文 型 ◎名詞はどこにいますか・ありますか
◎名詞と名詞のあいだにいます・あります
- (4) 本時で指導可能な単語
どこ、木、池、ネズミ、魚、お日様、雲、フォーク、スプーン、時計……等
- (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①前時の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・犬の絵を見せて、「犬がいます。」を思い起こさせる。 ・「～と～のあいだに」を前につけて、「～がいます・あります」と言う学習をする事を知らせる。 ・いろいろな絵を3つ選んで黒板に並べて貼る事により、「～と～のあいだに～がいます・あります」の場面を作らせる。 ・「～時と～時の間に」も取り上げ、生活に結び付いた文を考えさせる。
②本時の学習内容をつかむ。	
③具体物を見ながら、「～と～のあいだに～がいます・あります」と言う練習をする。	
④学習のまとめをする。	

第9課

—上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案—

- (1) 題 材 どれがいいですか
 (2) ねらい いくつかの中から選ぶ場合、その時に応じて、「～がいいです。」か「どれでもいいです。」なのかをつかい分ける事ができる。
 (3) 文 型 ◎どれがいいですか
 ◎名詞がいいです
 ◎どれでもいいです
 (4) 本時で指導可能な単語
 どれ、いい、画用紙、色紙、消しゴム、鉛筆……等
 (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①板書してあるいろいろなものの名前を読む。 ②どれか一つをもらえたとしたら、どれを選ぶか決める。 ③「どれがいいですか。」の問いに、「～がいいです。」と言いながら、プレゼントを受け取る。 ④本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・知らないものがあれば、説明する。 ・本当にもらえる事を知らせ、関心を高める。 ・「どれでもいいです。」が児童から出てこない場合は、指導者が言う。

第10課

—上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案—

- (1) 題 材 どちらですか
 (2) ねらい 「どちらですか。」の問いに「～です。」と答える事ができるようにする。
 (3) 文 型 ◎名詞か名詞、どちらですか
 ◎名詞です
 ◎どちらでもいいです
 (4) 本時で指導可能な単語
 どちら、帽子、ハンカチ、絵……等
 (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①お話を聞く。 ②話の続きとして、自分ならどちらを選ぶか考え、発表する。 ③ゲームを通して、「～か～、どちらですか。」「～です。」を言う練習をする。 ④本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や身振り、手振りを取り入れ、日本語がまだ十分わからない児童にも話の筋が伝わるように配慮する。 ・二者択一をしなければならないところで話を止め、自分ならどちらを選ぶか考えさせる。 ・「どちらですか。」の問いに対しての答えとして、「～がいいです。」あるいは「どちらでもいいです。」と答えればよい事を伝える。 ・A、B 2枚のカードの裏に自由に絵をかいて、「～か～、どちらですか。」と問い、他の児童が「A (B) ～です。」と答えるゲームを通して、それぞれの文型に慣れさせる。

第 1 1 課

－上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案－

- (1) 題 材 わたしはおかあさんが好きです
- (2) ねらい 「～は～が好きです。」「～は～がきれいです。」の表現に慣れる。
- (3) 文 型 ◎わたしは名詞が好きです
◎わたしは名詞がきれいです
- (4) 本時で指導可能な単語
だれ、好き、きれい、星、ぶどう、……等
- (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①本時の学習内容をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・「～は～が好きです。」での学習である事を知らせる。 ・自分の好きなものを黒板に書かせてから、文型に当てはめて発表させる。 ・日本語力がまだ十分でない児童には、好きな物を絵でかかせる。 ・「～は～がきれいです。」の文型を伝えるが、「きれいな人」はここでは出させない。
②自分の好きな人や好きなものを発表する。	
③きれいなものの言い方を知る。	
④本時のまとめをする。	

第 1 2 課

－上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案－

- (1) 題 材 かみをきります
- (2) ねらい 「名詞を□」の□に入る動詞を考えて、表現する事ができる。
- (3) 文 型 ◎名詞を動詞します
- (4) 本時で指導可能な単語
紙、ケーキ、ジュース、切る、破る、貼る、たべる、分ける、飲む、こぼす……等
- (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
① 1 枚の色紙をもらったら、その色紙を自分ならどうするか考えて発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に色紙を切ったり、破ったりさせる。 ・「いろがみに」という表現が出てきたら、「～に」は別の機会に学習する事を伝える。 ・「ケーキをたべる、切る、作る、もらう、配る、あげる、分ける」など、動作化させながら自由に出させる。 ・「ジュースを飲みます。」以外にどんな言葉を後につける事ができるか考えさせる。
②「ケーキを」ならどんな言葉がつながるか考える。	
③実物のジュースを使って、「ジュースを」の後につながる言葉を発表し合う。	
④練習プリントをする。	

第13課

—上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案—

- (1) 題 材 おはしでさしみをたべます
- (2) ねらい いろいろな料理を何でたべるか考える事により、「～で～をたべます。」の表現に慣れる。
- (3) 文 型 ◎名詞(道具)で名詞を動詞します
- (4) 本時で指導可能な単語
スパゲッティ、さしみ、ナイフ、スプーン、フォーク、たべる……等
- (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<ul style="list-style-type: none"> ①本時の学習内容をつかむ。 ②スパゲッティを、「スプーン」「フォーク」「ナイフ」「おはし」のどれでたべるのか考えて、発表する。 ③ほかの料理の場合も考えて、「～で～をたべます。」の言い方で発表する。 ④練習プリントをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「～で」「～を」の学習をする事を伝える。 ・「スパゲッティを～でたべます。」に当てはめさせる。 ・好きな料理を思い起こさせる。

第14課

—上野東小学校なかよし1 日本語学習指導案—

- (1) 題 材 どこへいきますか
- (2) ねらい 行く先を表す「へ」をつけて「～へいきます。」と言う事ができる。
- (3) 文 型 ◎どこへいきますか
◎名詞へいきます
- (4) 本時で指導可能な単語
校内のいろいろな教室や部屋の名前、海、山……等
- (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<ul style="list-style-type: none"> ①「どこへいきますか。」とたずねられたら、行く先をきかかれている事を知る。 ②校内の教室や部屋の写真を見て、「～へいきます。」という練習をする。 ③海や山の写真を選び、「～へいきます。」という練習をする。 ④学習のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の経験を思い起こさせる事により理解させる。 ・「どこへいきますか。」に対して答えさせる。 ・何枚かの写真の中から1枚ずつ引き、その名前を「～へいきます。」に当てはめて言う。

第15課

－上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案－

- (1) 題 材 なにでいきますか
- (2) ねらい 「なにでいきますか。」「～で～へいきます。」の表現に慣れる。
- (3) 文 型 ◎なにでいきますか。
◎名詞(手段)で名詞(目的地)へいきます
- (4) 本時で指導可能な単語
タクシー、トラック、自転車、船、飛行機、救急車……等
- (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<ul style="list-style-type: none"> ①前時の復習をする。 ②いろいろな乗り物の名前を確かめる。 ③「何で行きますか。」の問いに「～で～へいきます。」と答える練習をする。 ④練習プリントをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や地球儀でブラジルの位置を確かめ、「わたしはブラジルへいきます。」と板書する。 ・プリント問題をする。 ・乗り物の絵カードを見せながら、それぞれの名前を確かめる。 ・前時の復習プリントに書いた文に好きな乗り物の名前を入れて答えさせる。

第16課

－上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案－

- (1) 題 材 たべます・たべる
- (2) ねらい 身近な動詞の敬体と常体を知る。
- (3) 文 型 ◎動詞(敬体)・動詞(常体)
- (4) 本時で指導可能な単語
紙、ケーキ、折る、折ります、切る、切ります、たべる、たべます……等
- (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<ul style="list-style-type: none"> ①同じ動作でも、2通りの言い方がある事を知る。 ②どの動詞にも敬体と常体がある事を確かめる。 ③よくつかう動詞の敬体と常体を出し合う。 ④本時のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞「たべます」「たべる」のふたつの形が出てくる話を聞かせ、動詞には敬体と常体がある事に気づかせる。 ・児童の経験を通して考えさせる。 ・動詞の意味を確かめる際には動作化を取り入れる。

第17課

—上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案—

- (1) 題 材 みる・みた
 (2) ねらい 身近な動詞の現在形と過去形を知る。
 (3) 文 型 ◎動詞(現在形)・動詞(過去形)
 (4) 本時で指導可能な単語
 テスト、見る、見た、聞く、聞いた、飲む、飲んだ、食べる、食べた、かく、かいた
 登る、登った……等

(5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①短い話を聞く事により、動詞には現在形と過去形がある事を知る。 ②動詞の現在形と過去形の時制のちがいを確かめる。 ③よくつかう動詞の現在形を過去形に変える。 ④練習問題をする。	・「見る」「見た」のちがいが分かる話を聞かせる。 ・絵をつかたり動作化させたりして、理解させる。 ・多くの動詞を扱うのではなく、「かく」「食べる」などの、日常よくつかう動詞で考えさせる。

第18課

—上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案—

- (1) 題 材 そして
 (2) ねらい 2つの動詞を「そして」でつないだ短い文章の意味を理解することができる。
 (3) 文 型 ◎動詞。そして、動詞。
 ◎動詞。それから、動詞。
 (4) 本時で指導可能な単語
 飲む、食べる、立つ、勝つ、負ける、考える、消す、怒る、つかむ、気づく……等

(5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①ひとりずつ、いろいろな動詞が書いてあるカードをひく。 ②もう1枚ずつカードをひき、各自の持っている2つの動詞を「そして」でつなげ、「～する。そして～する。」という短い文章を作る。 ③「それから」も「そして」と同じ意味である事を知る。 ④本時のまとめをする。	・カードをひくたびに、書いてある動詞の意味を確かめる。 ・できた文章を音読させた後、その意味を表すジェスチャーで意味をつかませる。 ・黒板の「そして」を「それから」に書きかえる事で理解につなげる。

第19課

—上野東小学校なかよし2日本語学習指導案—

- (1) 題 材 たべるまえにはしる
 (2) ねらい 「～するまえに～する」の文の中で、先に行う動作がどちらなのかをとらえる事ができる。
 (3) 文 型 ◎動詞のまえに動詞
 (4) 本時で指導可能な単語
 前に、たべる、走る、話す、消す、聞く、書く……等
 (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①「そして」の意味を思い出す。	<ul style="list-style-type: none"> ・「たべる。そして、はしる。」と板書し、「たべてから走る」という意味である事を、動作化で確かめさせる。 ・「たべる まえに はしる。」と板書し、この場合は、後ろに書かれた行為を先にする事を、動作化と①・②の番号カードで説明する。 ・①・②の番号カードを児童に貼らせ、その都度どちらの行為が先なのかを確かめさせる。
②「まえに」の意味をつかむ。	
③ほかの動詞に入れかえて、動作化を繰り返しながら意味をつかむ。	
④練習プリントをする。	

第20課

—上野東小学校なかよし2日本語学習指導案—

- (1) 題 材 たべたあとではしる
 (2) ねらい 「～したあとで～する。」の文の中で、先に行う動作がどちらなのかをとらえることができる。
 (3) 文 型 ◎動詞(過去形)あとで動詞
 (4) 本時で指導可能な単語
 あとで、たべる、走る、書く、座る、寝る、たたく、泣く……等
 (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①「そして」の意味を思い出す。	<ul style="list-style-type: none"> ・「たべる。そして、はしる。」と板書し、「たべてから走る」という意味であることを、動作化で確かめさせる。 ・「たべた あとで はしる。」と板書し、「たべる。そして、はしる。」と同じ意味であると伝え、どちらの行為が先なのか確かめさせる。 ・「あとで」の前後にいろいろな動詞をつけて、動作化を通して意味をつかませる。
②「あとで」の意味をつかむ。	
③「あとで」をつかった文を作り、意味を確かめる。	
④練習プリントをする。	

第21課

－上野東小学校なかよし2日本語学習指導案－

- (1) 題 材 みて・たべて
 (2) ねらい 命令形としての動詞の「て形」をつかう事ができる。
 (3) 文 型 ◎**動詞**て
 (4) 本時で指導可能な単語
 ぶどう、ジュース、おいしい、コップ、さわって、見て、嗅いで、たべて、飲んで、絞って、捨てて、入れて……等

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①外からは中が見えない袋に手をさし入れて、中に入っている物を当てるゲームをする。	・最後に中のぶどうを取り出し、「見て」「たべて」をそれぞれゆっくり繰り返して言う事により、本時は「～て」の学習である事を意識させる。
②圧搾型ジューサーでぶどうジュースを作って飲む。	・「絞って。」と何度も声かけをする。 ・できたジュースを「飲んで。」の言葉をかけながら配る。
③動詞に「て」がつくとどんな意味を持つ事になるのか確かめる。	・他の動詞の「て形」も出させる。 ・動詞の「て形」は、ほかの人に依頼する意味を持っている事を知らせる。
④練習問題をする。	

第22課

－上野東小学校なかよし2日本語学習指導案－

- (1) 題 材 たべている
 (2) ねらい 動詞の「て形」＋「いる」で現在進行形の意味となる事を知る。
 (3) 文 型 ◎**動詞**ている（現在進行形）
 (4) 本時で指導可能な単語
 寝ている、たべている、歩いている、教えている、かいている、なめている……等
 (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①動詞の「て形」＋「いる」で動作が続いている状態を表す事を知る。	・「ねて＋いる→ねている」を指導者が身ぶりで表し、「ねている」の意味を理解させる。
②身近な動詞の「て形」と「いる」をつなげて現在進行形をつくるゲームをする。	・引いたカードに書いてある動詞を現在進行形に変え、動作化により意味を確かめさせる。 ・慣れてきたら「どこで」を表すカードも加え、「～が（主語）～で（場所）～している」の文を作らせる。
③本時のまとめをする。	・「て形」では、「動詞＋で」（例；飲んで）の場合もある事を知らせる。

第23課

－上野東小学校なかよし2日本語学習指導案－

- (1) 題 材 かわいい・かわいくない
 (2) ねらい 身近な形容詞の否定形を知る。
 (3) 文 型 ◎形容詞くない
 (4) 本時で指導可能な単語
 コアラ、リス、かわいい、かわいくない、赤くない、青くない……等
 (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①いろいろな動物の写真を見て、どう感じるか発表し合う。	・様々な反応が出るであろうが、「かわいい」と「かわいくない」の言葉が出たら、それを取り上げ、意味を確かめさせる。
②身近な形容詞の否定形を考える。	・「青い→青くない」「赤い→赤くない」のように、色を表す形容詞を否定形に変えさせる。
③本時のまとめをする。	

第24課

－上野東小学校なかよし1日本語学習指導案－

- (1) 題 材 おおきい
 (2) ねらい 「～より」の意味を理解し、表現できるようにする。
 (3) 文 型 ◎名詞は名詞より形容詞
 (4) 本時で指導可能な単語
 より、大きい、目、お父さん、口、ゴリラ、ゾウ……等
 (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①黒板に貼られたゴリラの口の絵カードと人間の口の絵を見て、どちらが大きいか確かめる。	・自由に答えさせる。
②自分の手と指導者の手を重ね合わせ、どちらが大きいか確かめる事により、「～より大きい」という言い方を知る	・各自にどちらの手が大きいか確かめさせてから、「～より大きい。」を繰り返して、「～より」の意味をとらえさせる。
③お互いの体の大きさを比べ、「～は～より大きい」という言い方を知る。	・体の大きさ比べを通して、「～は～より大きい。」の言い方を練習させる。
④単語カードを使って、「～は～より大きい」の言い方のまとめをする。	・何度もカード並べをする事を通して、習熟を図る。

第25課

—上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案—

- (1) 題 材 なんでしたか
 (2) ねらい 「なんでしたか。」の問いに、「～でした。」と答える事ができる。
 (3) 文 型 ◎なんでしたか
 ◎名詞でした
 (4) 本時で指導可能な単語
 ビーカー、ぼうし、ものさし、かなづち、玉ねぎ、うちわ、めがね、ビデオテープ、
 カセットテープ、ボール、ハンカチ、せんたくばさみ……等
 (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①ビーカーを見て、「これは、なんですか。」の問いに答える。 ②物の一部分だけ見て、それが何であったか当てる。 ③続いて同じように出される物についても、「なんでしたか。」の問いに、「～でした。」と答える練習をする。 ④問題を出す役と答える役を決め、文型を言う練習をする。 ⑤本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ビーカーです。」と答える事を確認する。 ・箱の中に隠してあるぼうしを、ふろしきで包んで取り出し、その一部分を見せてすぐに隠し、「なんでしたか。」とたずねる。 ・答えが出たら、「なんでしたか。」「ビーカーでした。」と板書する。 ・今の事は「～です。」だが、前の事は「～でした。」となる事を伝える。 ・当てる役の児童には、「～でした。」と最後まで言うようにさせる。 ・児童全員がどちらの役もできるように配慮する。

第26課

—上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案—

- (1) 題 材 まえにすすみます
 (2) ねらい 前後左右の方向が分かる。
 (3) 文 型 ◎名詞(方向)にすすみます
 (4) 本時で指導可能な単語
 ～に、進みます、前、後ろ、右、左、真ん中……等
 (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①人形に名前をつける。 ②自分から見て前後左右はどの方向か確かめる。 ③人形の動きを通して、「～にすすみます。」の意味を理解する。 ④本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・だれもが不愉快な気持ちにならないように配慮する。 ・黒板に後ろ向きの人形を貼り、さらに「まえ」「うしろ」「ひだり」「みぎ」のカードを人形を中心にしてそれぞれの位置に貼る事で、前後左右の方向を知らせる。 ・「～にすすみます。」と言う役と、その言葉に合わせて人形を動かす役に分け、適宜、その役を交替させる。

第27課

－上野東小学校なかよし1 日本語学習指導案－

- (1) 題 材 おかあさんにでんわをかけます
 (2) ねらい 「～にでんわをかけます。」が言えるようになる。
 (3) 文 型 ◎名詞(人物)にでんわをかけます
 (4) 本時で指導可能な単語
 もしもし、電話、ナンバー……等
 (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①本時の学習内容をつかむ。 ②電話のかけ方を確かめる。 ③相手を決めて、電話をかける。 ④黒板の板書を写す。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時は電話のかけ方の学習である事を知らせる。 ・指導者が児童に電話をかけた事にして、会話を楽しませる。 ・「～(相手)に電話をかけます。」と先に言うてから電話をかけさせる。

第28課

－上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案－

- (1) 題 材 ～におかしをあげます
 (2) ねらい 「～に～をあげます。」の表現に慣れる。
 (3) 文 型 ◎名詞(相手)に名詞をあげます
 (4) 本時で指導可能な単語
 ～に、あげます、たけのこ、パイナップル、りんご、すいか、レモン……等
 (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①箱の中に入っている物を1個ずつ取る。 ②箱の中の食品模型を再び取り、あげる相手を決めてわたす。 ③練習問題をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・箱の中には野菜や果物の食品模型を入れておき、一人ひとり取り出させ、名前を言わせる。 ・取り出した模型は、「～をあげます。」と言いながら、指導者から児童に手わたす。 ・「～(相手)に～をあげます。」と言ってから相手にわたす。 ・全員に食品模型がわたるように配慮する。

第29課

－上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案－

- (1) 題 材 せんせいからおかしをもらいます
 (2) ねらい 「～から～をもらいます。」の表現に慣れる。
 (3) 文 型 ◎名詞(相手)から名詞をもらいます
 (4) 本時で指導可能な単語
 ～から、もらいます、宿題、大根、じゃがいも、なす、ほうれんそう、にんじん……等
 (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①「もらいます」の意味を知る。 ②野菜の食品模型を受け取る。 ③「～から」の意味を知る。 ④練習問題をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「宿題をもらいます。」から「もらいます」の意味を理解させる。 ・取り出した野菜の名前を確かめた後、「～（児童名）は～（野菜名）をもらいます。」と言いながら、児童ひとりずつに模型を持たせる。 ・児童に欲しいものを一つ決めさせて、それをすぐ絵にかき、児童にプレゼントとしてわたす。その際、「～（児童名）は先生から～をもらいます。」を繰り返して聞かせる事で、「から」の意味をつかませる。

第30課

－上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案－

- (1) 題 材 なんまいですか
 (2) ねらい 数詞「枚」「冊」「個」が、それぞれどんなものを数える時につかわれるのかを知る。
 (3) 文 型 ◎なんまいですか ◎～まいです
 ◎なんさつですか ◎～さつです
 ◎なんこですか ◎～こです
 (4) 本時で指導可能な単語
 枚、冊、個、紙、本、飴……等
 (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①紙の数を数え、発表する。 ②紙以外のもので「枚」をつけて数えるものを知る。 ③「冊」や「個」をつけて数えるものを知る。 ④練習問題をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとり違う枚数の紙を配布し、各自の枚数を確かめさせる。 ・「何枚ですか。」と「枚」でたずねられたときは、数字に「枚」をつけて答える事を知らせる。 ・全員の紙の枚数を合計したら何枚になるかを協力して教えさせ、「枚」をつけて発表させる。 ・ガラスやハンカチなども「枚」の仲間であることを伝える。 ・本やノートは「冊」、飴は「個」で数える事を伝える。

第31課

—上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案—

- (1) 題 材 サッカーをします
 (2) ねらい 「○をします。」の○に入る言葉を考える事ができる。
 (3) 文 型 ◎名詞をします
 (4) 本時で指導可能な単語
 そうじ、サッカー、バスケットボール、バレーボール、なわとび、鉄棒……等
 (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①絵を見て、何をしているところの絵なのか考える。 ②「そうじをします」の「そうじ」の部分に、いろいろなスポーツ名を入れて読む。 ③ほかにどんな言葉を入れる事ができるか考えて、発表する。 ④練習問題をする。	・そうじの絵を提示し、「そうじをします。」の文を児童の中から出させる。 ・それぞれがどんなスポーツかを確かめながら進める。 ・他のスポーツやスポーツ以外のものも思い起こさせる。

第32課

—上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案—

- (1) 題 材 うんどうじょうでサッカーをします
 (2) ねらい 場所を表す「で」をつかって、「～(場所)で～をします。」の文を言う事ができる。
 (3) 文 型 ◎名詞(場所)で名詞をします
 (4) 本時で指導可能な単語
 プール、山、おふろ、台所、宿題、スポーツ、なわとび…等
 (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①2種類のカードをひき、そこに書いてある言葉をつかって、「～(場所)で～をします。」の文を作る。 ②場所を表す言葉は、ほかにどんなものがあるのか考えて、文を作る。 ③練習問題をする。	・緑色のカードにはいろいろな場所、白いカードには「○をします」の○に入れる事ができる言葉を書いておく。 ・緑色のカード(場所カード)は、白いカード(○を)より少なくしておき、児童に場所を考えさせる。

第33課

—上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案—

- (1) 題 材 たべないで
 (2) ねらい 「～しないで。」(禁止)の表現に慣れる。
 (3) 文 型 ◎**動詞**しないで
 (4) 本時で指導可能な単語
 たべないで、見ないで、入らないで、飲まないで、さわらないで……等
 (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①本時の学習内容をつかむ。 ②いろいろな動詞の「～しないで。」の形を知る。 ③練習プリントをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「禁止」の表現の学習をする事を、芝居を通して伝える。 ・それぞれの意味を理解するために、絵を使う。さらに、自分の経験とも結び付けさせる。 ・どれにも、最後に「で」が付いている事に気づかせる。

第34課

—上野東小学校なかよし2 日本語学習指導案—

- (1) 題 材 あかくておおきい
 (2) ねらい 形容詞がふたつ続く場合の言い方を知り、表現できる。
 (3) 文 型 ◎**形容詞**くて**形容詞**
 (4) 本時で指導可能な単語
 白くて、赤くて、青くて、黄色くて、大きくて、小さくて……等
 (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①円く切り取られた色画用紙の色から、色を表す形容詞を知る。 ②2つの形容詞は「くて」でつなげる事を知る。 ③他の色の円も混ぜて「おおきくて～。」「ちいさくて～。」に色を当てはめて言う練習をする。 ④練習問題をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「しろ→しろ<u>い</u>」と板書し、「しろい・あかい・あおい・くろい・きいろい」の言い方を伝える。 ・大小の赤い円を使って「おおきい・あかい→おおき<u>くて</u>あかい」「ちいさい・あかい→ちいさ<u>くて</u>あかい」と黒板にまとめる事で、理解に導く。 ・大きさは「大小」だけにし、色数も4色にとどめておく。

第35課

—上野東小学校なかよし2日本語学習指導案—

- (1) 題 材 おおきくかく
- (2) ねらい 「大きく」「小さく」「赤く」などの言葉の後にどんな言葉が来るのか知り、表現できる。
- (3) 文 型 ◎形容詞く動詞
- (4) 本時で指導可能な単語
大きく、小さく、赤く、青く、黒く、かく、塗る……等
- (5) 本時の指導

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<ul style="list-style-type: none"> ①「大きく」と「小さく」の意味をつかむ。 ②黒板に、字や絵を「大きく」かく。 ③「赤く」「青く」「黒く」の意味をつかむ。 ④本時のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板いっぱい大きな絵をかいて見せて「大きくかく」の意味を、見えないぐらい小さな絵をかいて「小さくかく」の意味を理解させる。 ・自分の手の動きで「大きく」を実感させる。 ・「大きい」から「<u>大き</u>く」が、「小さい」から「<u>小さ</u>く」ができている事を理解させる。 ・理解を助けるために、風船の絵に色を塗ったものを見せる。 「赤い→<u>赤</u>く」のように「く」のつくもの以外に「紫→<u>紫</u>に」のようなものもある事を知らせる。